

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 ハーシュ・リアリティ パール	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ハーシュ・リアリティパール

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番

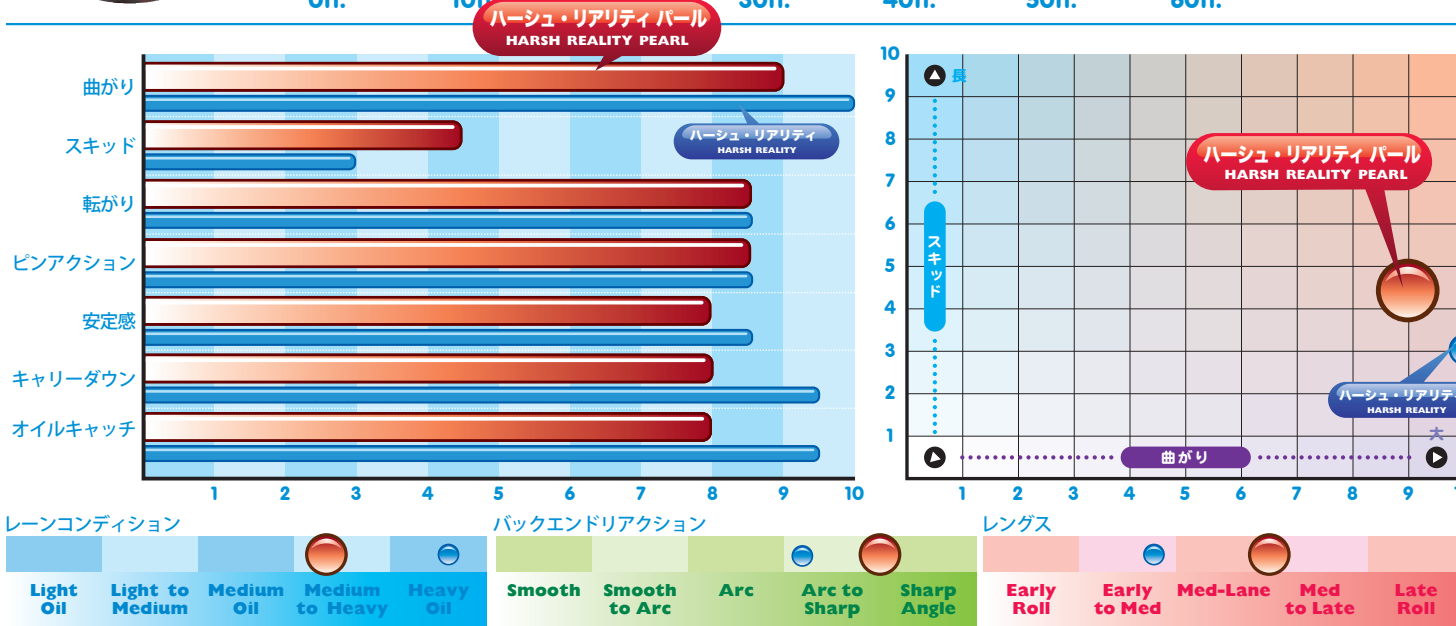
比較対照ボール：ハーシュ・リアリティ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番



ボールの評価

REALITYは900GLOBALシリーズの中でヘビーオイル向けをコンセプトとして開発が進められており、前回発売されたHARSH REALITYもコアとカバーストックに最新のテクノロジーが搭載されて生まれました。その表れがReserve Blend 902 Solid ReactineとDisturbance Asymmetric AI Coreであり、900GLOBALの中でも最大の吸油力を持ちながらアグレッシブさを求め、キャッチを強めながら先の動きのメリハリ感を持たせる「次世代」のボールというリアクションでした。そのHARSH REALITY発売から約半年、カバーストックのベースをSOLIDからPEARL素材に変更し、アグレッシブさはそのままにスキッド力を強化させ、よりメリハリ感を意識させる仕上がりを魅せたのがこのHARSH REALITY PEARLです。

私がHARSH REALITYとHARSH REALITY PEARLの2つを比較してまず感じたことは、キャッチの仕方やすキッド力こそ違えど、SOLIDもPEARLも曲がり方のイメージが変わらなかったことです。それは900GLOBALがHARSH REALITYシリーズに求めたコンセプトが忠実にパフォーマンスに現れていることでもあり、このようにリアクションが変わらないイメージを保ちつつ、カバーストックの素材でコンディションに対峙できることはそれだけシンプルであることでもあります。素材が変わると緩やかになったり性格が変わるボールが多い中で、リアクション形態を同じに保てるのが綿密に計算されて作成されたことを意味します。PEARL素材のHARSH REALITYが加わったことで、SOLIDのHARSH REALITYでは走りが見つかった場合でも対応が可能で、しかもリアクションが変わらずに曲がりイメージ出来るのが利点でもあります。先の動きをイメージしてラインを取る方は走り感と奥の動きが心地よく、角度のある曲がりと強烈なバックエンドリアクションを感じていただけるでしょう。

特記事項

HARSH REALITYのPEARLバージョンで、先の動きがさらに強調されて発売されます。オイルに強く先の動きを求めている方は気持ちよく投球できるでしょう。